

年間販売額 1兆円超

青果物 3.7%増の 5300億円

農水省は2016年度の6次産業化総合調査の結果をまとめた。とくに農産物直売所の販売額は初めて1兆円を超えたうえ、直売所における青果物販売額(野菜類・果実類・キノコ類等の合計)は5306億6千万円(前年比3.7%増)に上っている。16年(1~12月)の全国卸売市場流通金額(3兆3955億円)の15.6%に相当する(1)となる。

2016年度・農産物直売所の販売額

農水省「6次産業化総合調査」(単位=100万円)

区分	総額	生鮮食品						農産加工品	花き・花木	その他
		コメ	野菜類	果実類	キノコ類・山菜	畜産物	その他の生鮮食品(農産物)			
総数	1,032,367	55,912	327,642	177,620	25,398	65,572	28,161	141,490	78,303	132,269
農業経営体	170,084	9,223	24,680	68,121	2,333	20,152	2,131	29,294	5,235	8,914
農家(個人)	75,293	4,703	8,409	49,342	402	3,720	367	6,320	1,270	758
農家(法人)	18,399	1,029	2,533	3,572	597	3,920	124	4,953	824	846
会社等	76,393	3,491	13,738	15,207	1,333	12,512	1,640	18,021	3,141	7,309
農業協同組合等	862,282	46,688	302,962	109,498	23,065	45,420	26,030	112,195	73,068	123,355
地方公共団体・第3セクター	71,170	3,067	23,072	9,041	2,662	2,128	2,194	11,865	4,195	12,946
農業協同組合	345,262	24,939	126,721	46,719	7,686	20,699	11,469	38,857	34,338	33,834
生産者グループ等	177,762	7,507	72,246	20,898	4,553	5,024	3,137	24,947	15,274	24,178
その他	268,088	11,176	80,923	32,840	8,165	17,569	9,230	36,526	19,261	52,397

農産物直売所や加工、観光農園など農業生産関連事業の年間総販売金額は2兆0275億円、前年度に比べ3.0%増

加。このうち農産物直売所の販売金額は1兆0323億円、前年度に比べ3.5%、10年度に比べて26.3%増加した。一方、農産物の加工は9140億8600万円で、同2.4%、17.4%増加した。

農産物直売所の販売金額のうち、野菜類は3276億4200万円(前年比2.2%増)、果実類1776億2000万円(6.6%増)、キノコ類・山菜253億9800万円(3.6%増)。その合計は市場流通の15.6%に匹敵。しかも直売

所で販売される青果物には卸売市場から仕入れる輸入品なども含まれるため、国産品に限れば実際

はさらに割合が高くなると思われる。

農産物直売所の事業体数は2万3440事業体。そのうち農家・生産法人等が1万3170、協同組合・任意組合等が1万0270。協同組合等の直売所の全部が組合員以外の商品も取扱うが、農家等では他の農家

等の商品を扱ったのは2380(18.1%)にとどまる。販売金額に対する平均手数料率は、生鮮品が会員14.6%、会員以外18.0%。加工品は同16.0%、19.1%。

農産物直売所の年間販売金額(「その他」をのぞく)のうち、自家生産物は1175億4200万円(13.1%)、自都道府県産は6981億3400万円(77.6%)、他都道府県産820億9100万円(9.1%)、輸入品23億3100万円(0.3%)。

都道府県別にみた農産物直売所の販売金額上位10位は次のとおり。

- ①福岡(479億5300万円) ②埼玉(453億1500万円) ③千葉(449億5900万円) ④愛知(441億4400万円) ⑤静岡(400億3200万円) ⑥熊本(366億7400万円) ⑦長野(365億0300万円) ⑧茨城(352億6900万円) ⑨群馬(326億7200万円) ⑩愛媛(300億8000万円)